

平成 31 年度

運営に関する計画

(立案)

平成 31 年 4 月 23 日

大阪市立上福島小学校

立案

(様式1)

大阪市立上福島小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

1 現状

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○道徳心・社会性

相手のことを豊かに想像してかかわれる児童を育成するため、継続してあいさつ運動を行ったり、全教育活動の中で道徳教育をていねいに行ったりしてきた。そのことで、学級やたてわり班などの異学年集団でも協力して活動したり、助けあつたりする姿が多く見られるようになり、安定した学校生活を送ることができている。また、記名調べなど継続して指導を行い、ものを大切にする態度も身についてきている。

○学校・家庭・地域との連携

行事や日々の取り組みなどをとおして、学校・家庭・地域で連携して実施時期や内容を工夫したり、児童への教育効果など検討しながら進めることができた。増改築工事や通学区域変更などによる教育環境整備や教育課程、地域・PTA行事等の調整などの課題は多いが、今後、さらに連携・協力体制を強化し、児童の安全・安心を充実させるための取組を推進していく。

児童の問題・目的意識を詳しくとらえて、学習・学校生活の課題設定をしたことにより、意欲的に取り組む児童が増えてきている。

【心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○学力

基礎的・基本的な学力を高めるため、授業研究や習熟度別少人数指導などを中心に実態をていねいに看取り、児童が自ら課題を設定して解決に取り組める学習内容を工夫してきた。そのことにより、学習への意欲が向上し進んで対話する児童も増え、学力向上の結果が単元別評価テストや大阪市学力経年調査結果などにも反映された。

○健康・体力

毎日の食育指導や栽培活動、保健行事やおたより等の内容を向上させたことにより、児童の健康への意識を高めることができた。全国体力・運動能力運動習慣等調査でも、食や運動と健康の関連を意識できている傾向が見られた。睡眠や朝食、排泄、歯みがきなど基本的な生活習慣の大切さを理解できた児童も増えてきている。それらを定着させるために今後も指導・育成を続けていく。

2、課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○道徳心・社会性

- ①道徳教育、人権教育などをとおして、子どもたちの自尊感情を高めること
- ②相手の立場に立って、あいさつや声かけができたり、親切にしたりする態度の育成
- ③学校や社会のルールを守って生活できる態度の育成

○学校・家庭・地域との連携

- ①校舎増改築、通学区域変更による教育環境の変化に対応するため、学校生活の安全配慮及び各種行事の実施内容・時期・会場などについて、家庭・地域との連携を強化すること
- ②全市の目標に対応したPDCAサイクルの学校評価方法を検討し、児童の実態や意識を的確にとらえた調査にしていく。

【心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○学力

- ①自ら課題を設定し「話すこと・聞くこと」の力を高めながら、主体的で協働的な学びの力を向上させること
- ②学習と関連させた校外学習を充実させて体験的な学びを拡充し、知識の質・量を豊かにすること
- ③ICT機器等を効果的に活用し、調べる力や情報整理の力、表現力等を高めること

④英語モジュール学習を「上福タイム」を中心に行い、外国の言葉や文化に親しみをもって楽しく学べる態度を身につけること

○健康・体力

- ①「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さ理解して実践し、習慣化すること
- ②自分の体力を知り、その課題に応じてさまざまな運動に主体的に取り組む意欲の向上
- ③食と健康の関連を学び、自ら健康維持増進を図れる力の育成

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○令和 2 年度の全国学力学習状況調査における「学校のきまりや規則をまもっていますか」の項目で「あてはまる」の回答率を 9 0 % に向上させる。

○令和 2 年度校内調査で、いじめ解消率を 9 5 % 以上にする。

○令和 2 年度校内調査で、不登校率を 0.5 % 以下にする。

【心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○令和 2 年度の全国学力学習状況調査における活用問題の正答率を国語科で 5 5 % 、算数科で 5 5 % に向上させる。

○令和 2 年度の全国体力・運動能力調査で、新スポーツテストの全項目で全国平均を上回るようにする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標案（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

○平成 31 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 % 以上にする。

○平成 31 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 9 0 % 以上にする。

○平成 31 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

○平成 31 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

○いじめ解消率を 9 5 % 以上にする

○本校教育アンケートで「友だちに、やさしいことばをかけたり、親切にしたりするよう心がけている。」の肯定的な割合を 9 0 % 以上にする。

○平成 31 年度本校教育アンケートにおける「きまりを守って学校生活を送っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 9 0 % にする。

○本校教育アンケート「元気よくあいさつをしている。」の肯定的な割合を前年度より上げる。

○本校教育アンケート（保護者）「学校・P T A ・地域の行事に参加している。」の肯定的な割合を 8 0 % 以上にする。

○本校教育アンケート（保護者）「学校は地域と連携して防災減災教育を行い、その意識とスキルの向上を行っている」の肯定的な割合を 8 0 % 以上にする。

○校内調査において、不登校率の割合を 1 % 以下にする。

【心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント減少させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 2 割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 5 ポイント増加させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横跳びと立ち幅跳びの平均の記録を、前年度より 7 ポイント向上させる。

学校の年度目標

- 大阪市学力経年調査において、全教科で正答率を前年度より 1~2 ポイント向上させる。
- 本校教育アンケートにおいて「課題を意識して、調べたり、観察・見学したりしている」の肯定的な回答を 80 % 以上にする。
- 本校教育アンケートにおいて「ペアやグループで話し合い活動を実施し、自分の思いや考えを伝え合っている。」の肯定的な回答を 80 % 以上にする。
- 本校教育アンケート「家では、早寝、早起き、朝ごはんを心がけている。」の項目で、肯定的な割合を前年度より上げる。
- 本校教育アンケート「食べ物が健康に大事だと感じている。」の肯定的な割合を維持する。
- 本校教育アンケート「外で遊んだり運動したりするのが好きだ。」の肯定的な割合を前年度より上げる。

3 本年度の自己評価の結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

【心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上】

立案①

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>全市共通目標</p> <p>【(1)子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <ul style="list-style-type: none">○平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。○平成31年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童（生徒）の割合を90%以上にする。○平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。○平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none">○いじめ解消率を95%以上にする○本校教育アンケートで「友だちに、やさしいことばをかけたり、親切にしたりするよう心がけている。」の肯定的な割合を90%以上にする。 H30 最終 88%○本校教育アンケートにおける「きまりを守って学校生活を送っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%にする。 H30 最終 90%○本校教育アンケート「元気よくあいさつや返事をしている。」の肯定的な割合を前年度より上げる。 H30 最終 85%○本校教育アンケート（保護者）「学校・PTA・地域の行事に参加している。」の肯定的な割合を80%以上にする。 H30 最終 87%○本校教育アンケート（保護者）「学校は地域と連携して防災減災教育を行い、その意識とスキルの向上を行っている」の肯定的な割合を80%以上にする。 H30 最終 94%○校内調査において、不登校率の割合を1%以下にする。 H30 最終 1.3% (2人)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>絵手紙づくり・花植え・茶道体験など地域とのふれあい行事やPTA行事、ソフトボール・キックベースボールなど地域と連携して教育活動を行う。</p> <p style="text-align: right;">(学校サポート改革)</p>	

<p>指標 本校教育アンケートにおける「学校・PTA・地域の行事に参加している。」と答える保護者の割合を80%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">H30 最終 87%</p>	
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 各学期に実施する校内調査において、学校で認知したいじめについては、聞き取り調査をして、解消に向けて取り組む。</p>	(カリキュラム改革)
<p>指標 本校教育アンケートで「友だちに、やさしいことばをかけたり、親切にしたりするよう心がけている。」の肯定的な割合を90%以上にする。また、校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p>	
H30 3学期調査 100%解消 (38/38件中)	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 週目標を設定し、きまりを守って学校生活を送れるように意識させる。</p>	(カリキュラム改革)
<p>指標 本校教育アンケートにおける「きまりを守って学校生活を送っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%にする。</p>	
H30 最終 90%	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

立案②

大阪市立上福島小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>全市共通目標</p> <p>【(2) 心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>○平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント減少させる。</p> <p>○平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より5ポイント増加させる。</p> <p>○平成31年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横跳びと立ち幅跳びの平均の記録を、前年度より7ポイント向上させる。</p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>○大阪市学力経年調査において、全教科で正答率を前年度より1~2ポイント向上させる。</p> <p>○本校教育アンケートにおいて「課題を意識して、調べたり、観察・見学したりしている」の肯定的な回答を80%以上にする。 H30 最終 83%</p> <p>○本校教育アンケートにおいて「ペアやグループで話し合い活動を実施し、自分の思いや考えを伝え合っている。」の肯定的な回答を80%以上にする。 H30 最終 90%</p> <p>○本校教育アンケート「家では、早寝、早起き、朝ごはんを心がけている。」の肯定的な割合を前年度より上げる。 H30 最終 80%</p> <p>○本校教育アンケート「食べ物が健康に大事だと感じている。」の肯定的な割合を維持する。 H30 最終 97%</p> <p>○本校教育アンケート「外で遊んだり運動したりするのが好きだ。」の肯定的な割合を前年度より上げる。 H30 最終 86%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>規則正しい生活を心がける。 (カリキュラム改革)</p>	
<p>指標</p> <p>早寝、早起き、朝ごはんの大切さに気付き、実践できるよう、家庭との連携を図る。 また、本校教育アンケート「家では、早寝、早起き、朝ごはんを心がけている。」の肯</p>	

<p>定的な割合を 80 %以上にする。</p>	<p>H30 最終 80%</p>	
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>地域や大阪にある施設の見学を通して、子ども自ら学習課題を解決することができるよう指導する。</p>		(マネージメント改革)
<p>指標</p> <p>本校教育アンケート「課題を意識して、進んで調べたり、観察・見学したりしている。」の肯定的な割合を 80 %以上にする。</p>	H H30 最終 83%	
<p>取組内容③【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>授業や学校生活の様々な場面で、しっかり聞いて発表させる。(カリキュラム改革)</p>		
<p>指標 本校教育アンケート「ペアやグループで話し合い活動を実施し、自分の思いや考えを伝え合っている」の肯定的な割合を 80 %以上にする。また、小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。</p>	H30 最終 90%・経年 79%	
<p>取組内容④【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>音読や漢字、計算の力を伸ばす。</p>	(カリキュラム改革)	
<p>指標 本校教育アンケート「音読や漢字、計算にほぼ毎日取り組んでいる。」の肯定的な割合を 90 %以上にする。</p>	H30 最終 89%	
<p>取組内容⑤【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>収穫を喜び合い、自然の恵みに感謝することができる。</p>	(カリキュラム改革)	
<p>指標 本校教育アンケート「身の回りの自然に興味をもっている。」の肯定的な割合を 80 %以上にする。</p>	H30 最終 84%	
<p>取組内容⑥【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>自分の体力を知り、さまざまな運動に取り組む。</p>	(カリキュラム改革)	
<p>指標</p> <p>本校教育アンケート「外で遊んだり運動したりするのが好きだ。」の肯定的な割合を 80 %以上にする。</p>	H30 最終 86%	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
後期への改善点		

